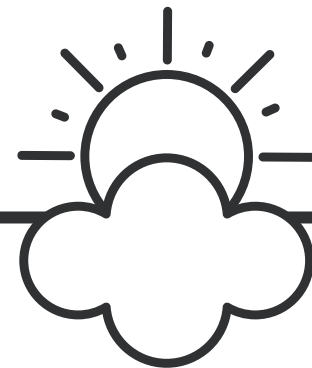


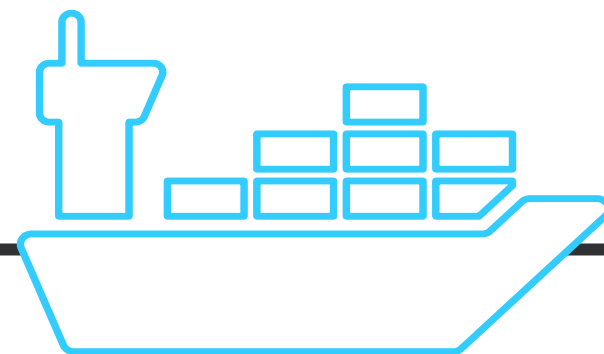


敦賀港

トライアル活用事例紹介 外貿編

令和5年度

トライアル支援事業助成金制度活用10社



敦賀港国際ターミナル(株)

A社様

トライアル実施企業からの
コメント

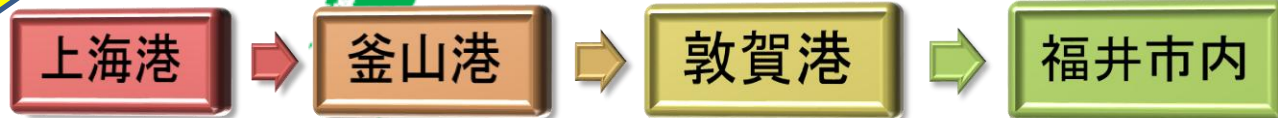
樹脂の輸入で敦賀港をトライアル利用

- 新たな取引の納入先が福井市にあったため、最も近い港である敦賀港を利用
- 従来の取引ではこれまで大阪港を利用していたが、国内輸送の運賃が値上がりしつつあり、輸送距離が短くトータルコストが安くなる敦賀港を利用
- 取引先との価格が折り合えば、今後とも継続的に敦賀港を利用していきたい

敦賀港を利用したら

コストが30%
削減でき、BCP
対策港として認
識できた

新規利用



B 社様

トライアル実施企業からの
コメント

製品の輸出で敦賀港をトライアル利用

- これまでも韓国への輸出で敦賀港を利用しているが、今回新たに中国への輸出で名古屋港から敦賀港に転換
- 輸送コストや輸送品質は従来どおり維持されており、また B C P の観点からも敦賀港のメリットが十分検証できたため、有事に備え今後も敦賀港を継続的に利用していきたい
- 冬季のリードタイムは時間が掛かることが多く、今後の冬期間の利用は検討が必要である

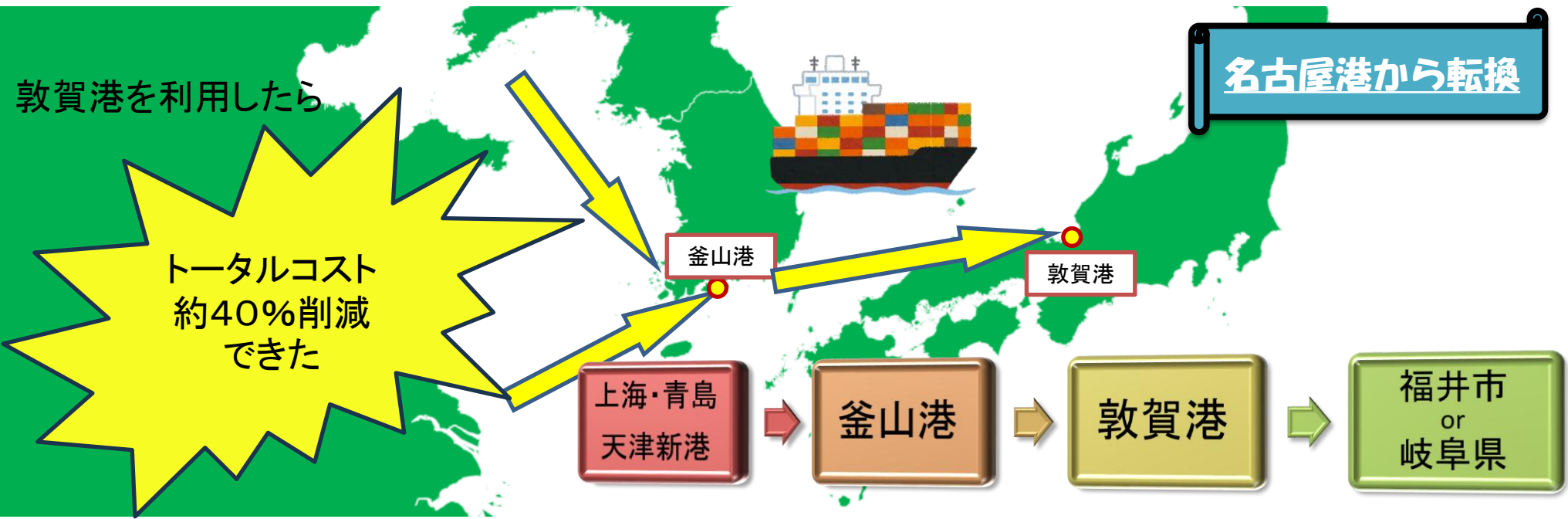


ゲンキー株式会社様

トライアル実施企業からの
コメント

雑貨の輸入で敦賀港をトライアル利用

- これまでも韓国からの輸入で敦賀港を利用しているが、今回新たに中国からの輸入で名古屋港から敦賀港に転換
- 名古屋港では中国航路がコロナ後でも高値が続いており、敦賀港を利用することによるコストダウンは社内でも評判がよく、また主要港の災害時を考えると敦賀港はB C Pの観点からも評価が高く、今後とも継続的に利用していきたい
- 敦賀港の利用については、リードタイムが長いと店舗で欠品のおそれがあり、社内において発注時期の調整が必要



B社様

トライアル実施企業からの
コメント

雑貨の輸入で敦賀港をトライアル利用

- 令和3年度にも寧波からの輸入でトライアルを利用した。今回は上海からの輸入で名古屋港および金沢港から敦賀港に転換
- 輸送品質について問題はなかったが、釜山港でトランシップの混雑などにより一部スケジュールが乱れたことがあるので、敦賀港に中国からの直行便があれば、輸入ルートの一つとして十分に検討できる。
(中国からの直行便の就航を強く要望したい)
- 納入までのトータルコストが他港に比べて高いため、船会社への運賃交渉が必要



原料の輸出で敦賀港をトライアル利用

- これまでの神戸港からの輸出を敦賀港に転換
- 敦賀港のリードタイムは神戸港と比べ5日ほど遅くなり、特に釜山港でのトランシップに要する日数がネックであったが、神戸港は陸上輸送の手配から着荷、カット前日までの搬入に5日以上要するため、実質的なリードタイムの差はほとんどなかった
- 陸上輸送費はかなり削減できた
- 敦賀港は、能登半島地震の際にも被災せず完全に機能していたことは評価できる
- 今後も継続的な利用を予定しているが、敦賀港にはぜひ上海航路の就航をお願いしたい



株式会社JEXIM様

トライアル実施企業からの
コメント

鉄鋼製品の輸入で敦賀港をトライアル利用

- 別案件で大阪港や神戸港を利用しているが、新規案件で福井県内への納入貨物で敦賀港を利用した
- 物流コストは国内輸送費が大きく占めるため、大阪・神戸港などの大規模港よりも、納入先最寄りの地方港に揚げる方が低コストとなった
- 特に福井県内の顧客に関しては、敦賀港を継続的に利用したい
- 今回のトライアル利用で敦賀港が当社の今後の取引に地理的優位性を強く感じた
- 今後新たな物流を検討する際、敦賀港を優先的に考えたい

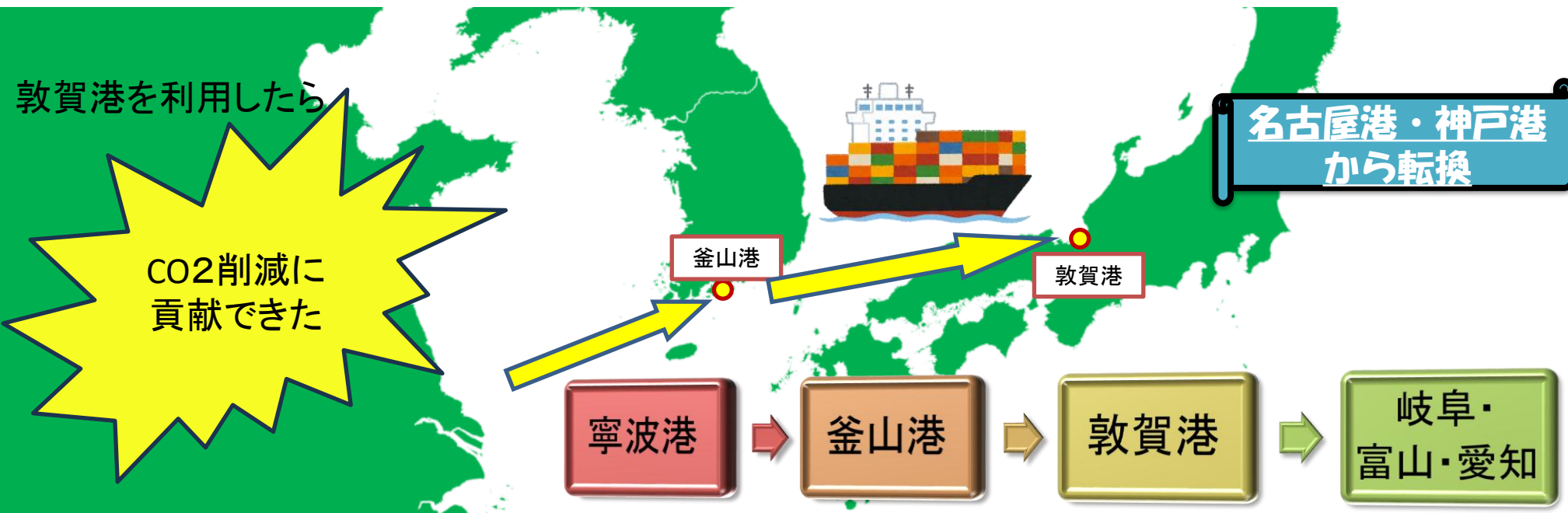


D社様

トライアル実施企業からの
コメント

樹脂の輸入で敦賀港をトライアル利用

- 名古屋港・神戸港から敦賀港に転換
- リードタイム的には、釜山のトランシップで多少トラブルがあったため、船積みのスケジュールは余裕をもって調整する必要がある
- 海上輸送や通関業務はスムーズであり、さらにコスト面では船社チャージが大きく削減でき、費用面と利便性においても十分なメリットがあるため、リードタイムの件を考慮しても継続的な利用を積極的に検討している
- 納入先（富山・岐阜・愛知）への距離が近いため、CO₂削減を図ることができた

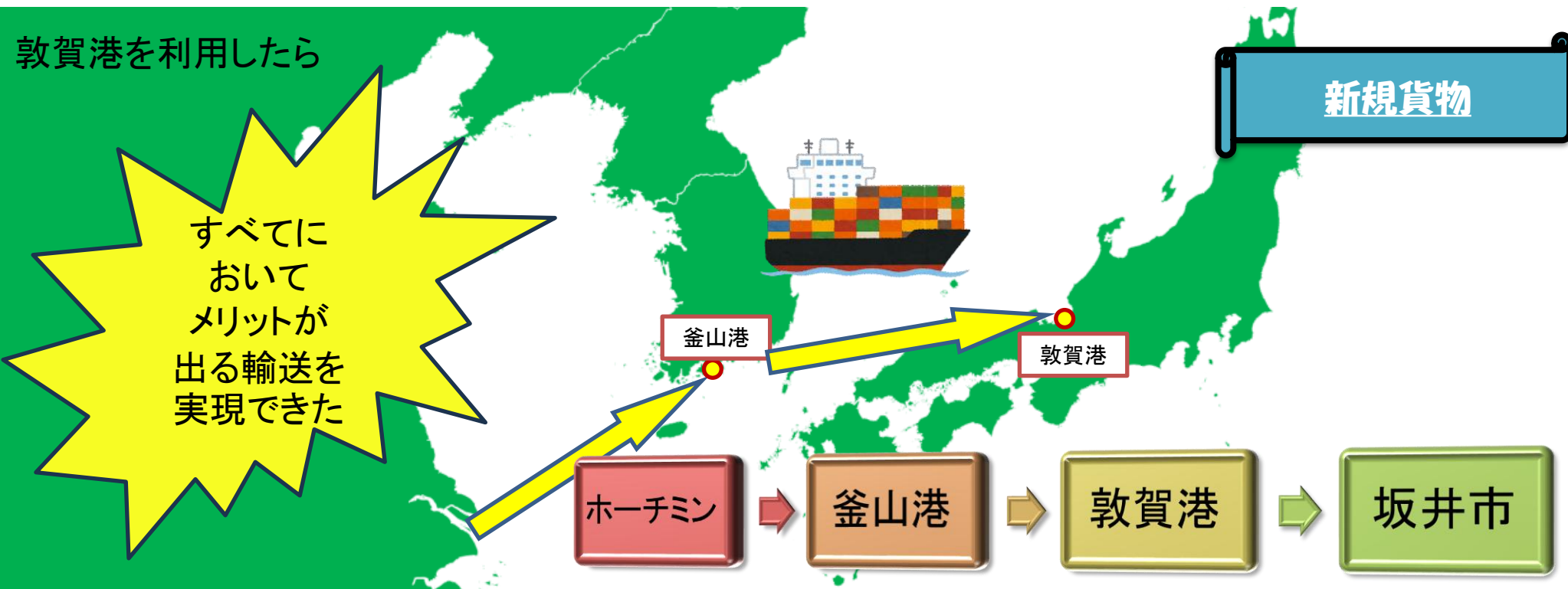


D社様

トライアル実施企業からの
コメント

アルミインゴットの輸入で敦賀港をトライアル利用

- ベトナムから新たな貨物の輸入で敦賀港を利用、福井県坂井市へ納入
- オペレーション上に支障がなく、エンドユーザーへの納期にも予定どおり納入できたのでベトナムのみならず、東アジア・東南アジア諸国からの輸入においても、敦賀港を利用していきたい
- 敦賀港は、トータルコストで競争力があり、B C Pの観点からも選択肢が増え、効果的なトライアルができた



信越化学工業株式会社武生工場様

トライアル実施企業からの
コメント

マグネット素材の輸出で敦賀港をトライアル利用

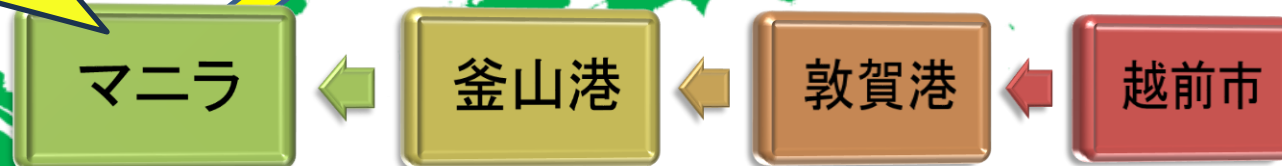
- 神戸港からの輸出を敦賀港に転換
- 海上運賃は比較的安価であり、トラックでのコンテナドレーの距離が短くなったことで、CO₂削減に貢献できたため、今後も利用していきたい
- 貨物量増加(向け先の拡張)には、釜山トランシップでの待機などが発生するため、航路増便や直行便の就航など利便性を改善がカギとなる
- 敦賀港は中国航路再開に向けて動いていると聞いているが、他のアジアとの航路についても検討してほしい

敦賀港を利用したら

ドレージ費用
の低減・海上
運賃低減で
コスト削減に
繋がった

神戸港から転換

2024年問題に一早く
取り組むことが出来、
貢献出来ている



原料の輸入で敦賀港をトライアル利用

- 今回は新たな輸入の案件敦賀港を利用
- 釜山港でのトランシップによる多少の遅延リスクはあるが、敦賀港に入る船会社すべてを利用することで、リスク分散を図っている
- 納入先が敦賀市内なので敦賀港の利用は非常にメリットがあり、今後も継続的に敦賀港を利用していきたい
- 敦賀港は、当社の要望に対し臨機応変に対応してもらえるため、非常に便利である

